

# おしえぐさ

10月18日発行

知名町立知名小学校

## 「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えよ」

こうちよう ながの ひでき  
校長 長野 秀樹

この言葉は、教育の世界ではよく出てくる言葉の一つです。中国語では『授人以魚 不如授人以漁( ショウ レン イー イュー、プー ルー ショウ レン イー イュー)』と言われ、「人に魚を与えると1日で食べてしまう。しかし、人に釣りを教れば生涯食べていく事が出来る」と老子(中国春秋時代における哲学者)が言ったとされる言葉です。

お腹を空かした人がいた場合、魚を与える事は一時的な空腹を満たすためには簡単な方法ですが、それでは、その人は空腹になる度に誰かを頼り、魚をもらい続けなければならないし、もらい続ける癖がついてしまいます。

それに対して、釣りの道具を与えて魚の釣り方を教え、実践して身に付けてもらえるようにすれば、空腹になっても自らの力で魚を捕まえて食べられるようになります。もちろん、目先の困難を助けることも時には大事ですが、「相手のためには何が1番か？」を考え、教えてあげたり、環境を作ってあげたりすることが大事です。

「答えはその人の中にあり」と言われます。教えるのではなく、自分自身で気付く事がとても大切だとされます。答えを知っている者からすれば、答えを教えるのは簡単ですし、単刀直入に言いたくて、もやもやすることもあります。しかしそこをぐっと堪えて、相手が自ら気付き、学ぶ機会を奪ってはいけないというのも教える立場の人の役目です。

子供から「これってなあに？」と聞かれ、簡単に答えを教えてしまうのは、子供の考える力を育む意味で、成長の機会を奪う場合もあります。

質問と答えの間には「疑問」があり、「なぜ?」「どうして?」「どうやって?」という過程があります。答えを教えてしまうことで、頭を使い考える習慣を飛ばしてしまうのです。答えを簡単に知る習慣を続けることで思考停止状態になり、思考力、創造力などが育ちません。

学校では、学習や学習以外の場で、すぐに答えを教えるのではなく、子供が自分で考えられるように仕向けています。ご家庭におかれましても、子供が「これってなあに?」と聞いてきたら、「なんだと思う?」と聞き返し、考える習慣を付けさせたいものです。困っていたら、すぐに答えを教えるのではなく、一緒に解決方法を考えるようにしていただきたいと思ひます。



## 第71回 秋季大運動会! ~ ご協力・応援, ありがとうございます ~

9月29日(日)はとても良い天気のもと、大運動会が開催されました。多くの保護者の皆様に大変お世話になりました。テント設営等の運動会会場づくり, 当日の受付・接待や駐車場係, 校内巡視等の協力をいただきました。

子どもたちが青空のもとで、安全に安心して元気いっぱい日頃の学習の成果を発揮することができました。

さらに片付けやトイレ掃除までお手伝いいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



行事の紹介等については、知名小学校のホームページ(ブログ)でも行っておりますので、ご覧ください。

日	曜	11月の行事予定
1	金	かごしまの教育県民週間(~7日) 自由参観 心の教育の日 安全点検
3	日	(祝)文化の日
4	月	振替休日
5	火	自由参観 学校評議員会
6	水	自由参観 知名っ子フェスティバル(2年生)
9	土	土曜授業日
11	月	島ム二週間(~15日)
14	木	小・中学校音楽発表会(4年生)
15	金	戦没者追悼式典(6年生)
16	土	4年生学級PTAレクリエーション
18	月	青少年劇場
19	火	むんがたい
20	水	避難訓練(火災)
23	土	(祝)勤労感謝の日 県PTA活動研究委嘱公開
29	金	学習発表会 学級PTA 心と体の教室

## 読書月間 ~ 職員による読み聞かせ ~

10月1日~31日までを読書月間として取り組んでいます。

その一環として、10日(木)は職員による読み聞かせを行いました。



## 11月の目標

生活目標 ○ 正しい言葉遣いをしよう

保健目標 ○ トイレをきれいに使おう

## 今月の島ムニ

- しださ → 涼しい
- ぬくさ → 暖かい
- ひーさ → 寒い
- あちさ → 暑い

※ 今月はまだまだあちさかな。